九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

教師の紐帯形成に関する研究 : 学校内外における同教科教師間の関係に着目して

兼安, 章子

https://hdl.handle.net/2324/2236008

出版情報：Kyushu University, 2018, 博士（教育学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：

氏　　名	兼安章子
論　文　名	教師の紐帯形成に関する研究 —学校内外における同教科教師間の関係に着目して—
論文調査委員	主　査　九州大学　教授　元兼正浩 副　査　九州大学　教授　田上哲 副　査　九州大学　准教授　山田政寛 副　査　九州大学　教授　増田健太郎

論文審査の結果の要旨

本論文は、教師が保有する紐帯について個人を中心に描き出すことを通して、学校内・外という枠組みを超えた授業に関する教師の紐帯とそれらの特質、紐帯形成のプロセスを明らかにするものである。

教師個人を対象とし、特定の地点における紐帯とその特質について社会ネットワーク分析を用いて、紐帯形成と活用のプロセスについて修正版グラウンデッドセオリー・アプローチを用いて検証している。教師は形成する紐帯において、意識的にその関係を強化したり緩やかに保持したりしており、そのベネフィット重視の行為から、教師が紐帯を資源として捉えている実態に加え、それらを紐帯活用戦略として位置付け可能であることを示した。また、教材貸借や譲渡のプロセスは、紐帯を形成する同一教科教師間での実践コミュニティとしての側面から、単独もしくは複数の紐帯を含む関係性の認識を明示するものであると同時に、教科の専門性を保有する教師としての承認を意味する行為であることが導かれた。

本研究が提示した上記の成果は、同教科教師間の授業に関する紐帯に着目したものであるが、学校組織やその他の集団を基準とした関係に限らない教師間関係の一端を解明している点で、有益な情報を提供している。これらの知見は、学校外の教師間関係の検討における基盤となるものである。

よって、本論文は博士（教育学）の学位に値するものであると認める。